

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |




- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

## 1. 建物概要

建物名称	新潟東区警察署(庁舎棟)	
建設地	東区 下木戸1丁目	
用途地域	工業専用地域	
建物用途	事務所	
竣工年	2017年2月 竣工	
敷地面積	10,767.41 m <sup>2</sup>	
建築面積	2,038.77 m <sup>2</sup>	
延床面積	44,602.29 m <sup>2</sup>	
階数	地上3F	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2015年3月26日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{66.0}{34.5} = 1.9$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	4.0		バリアフリー	4.0
			維持管理	4.5
			更新性	3.4
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.9		耐震・免震	3.8
			信頼性	4.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.8		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	3.5
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	4.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全・創出	3.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	4.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	5.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 1.バリアフリー対応、維持管理しやすい仕上材の選定。
- 2.耐震性重要度係数I=1.25としている。
- 4.断熱材の適材適所の使用。中庭・トップライトを設置。
- 5.節水器具の使用。リサイクル資材を使用している。
- 7.公衆溜は広いスペースを確保し、地域のコミュニティスペースとしても利用できる計画。

# CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)  
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

## 評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新潟東区警察署(庁舎棟)	階数	地上3F
建設地	新潟県新潟市東区	構造	RC造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	200人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 竣工	評価の実施日	2015年3月26日
敷地面積	10,767 m <sup>2</sup>	作成者	甲斐文晴
建築面積	2,039 m <sup>2</sup>	確認日	2015年3月30日
延床面積	44,602 m <sup>2</sup>	確認者	野沢道行



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.9** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (120 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 83% (100 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 3.6**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.3

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ■都市における犯罪の広域化・スピード化に的確に対応できる施設整備を図る。 ■突発重大事件や災害発生時に迅速かつ的確に対処できる施設整備を図る。 ■人と自然にやさしい警察署としての施設整備を図る。		<b>その他</b> 災害発生時にも機能できるように、非常用発電設備や汚水一時貯留槽を計画している。
<b>Q1 室内環境</b> 取調室は吸音性を高めて業務の効率化を図っている。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐震性重要度係数をI=1.25としている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 利用する方々が訪れやすい配置計画を行っている。
<b>LR1 エネルギー</b> 中庭・トップライトによる自然採光の利用を図っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水器具・給水コマ・リサイクル資材を使用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 十分な駐車台数を確保すると共に、乗入口を3箇所とし周辺道路の渋滞緩和への配慮を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される